

青白

貝塚市立二色小学校 校長室だより第37号

H23年7月15日発行

貝塚市二色1-3-1

Tel 072-438-2925 Fax 438-2926

熱中症にご注意を。外出時には帽子・水筒を。放課後の子どもの安全にもご注意ください。

“あゆみ”をもらったら、どこをよく見ますか？

もうじき1学期終業式。子ども達は“あゆみ”をもらってきます。(懇談会で見られたかも?)よく『あゆみの見方』というものがあり、「出来ていないところばかり注目せず、いいところ頑張ったところをしっかりとほめてあげてください」という説明を見聞きします。その通りですね。

でも、どうですか?お宅では・・・??

ざっと見て・・・「うん、まあまあやあね」「前より上がったやん」「前より厳しいなあ・・・」など、つい口にしてしまわないですか?



中には、もらって来ても、そのまま机の上に置いたまま・・・とか?

いえいえ、「なんでこれがもう少しなん?」「なんでこんなに理科が悪いん?」など、一方的にこってりしぼられることもあるのでしょうか。

私も長い間、あゆみを渡してきましたし、我が子のあゆみも見てきました。その反省も込めて、次のような見方をしてみてもは?・・・というお話をしたいと思います。

その1 「もう少し」には、いろいろある



何がもう少しかをよく見てほしいと思います。その中には、「努力(練習の継続など)をしていないためにもう少しになった」もあれば、「いっぱい努力していたけれど、まだしっかりはできていない」もある。そのどちらかによって、声かけを変えてあげてほしいのです。前者は「夏休みに復習しようね」だし、後者は「もう一息だって先生も言っておられたよ」と。

また、苦手意識から「もう少し」になり、よけい嫌いになるというケースもあります。お家の方ならわかると思うので、「どうしたら好きになるかなあ・・・」と一緒に考えて、「お母さんも、して好きになったよ」など体験を話したりすると、子どもは安心するのではないのでしょうか。つまり、もう少しには、長い目で見まもるものと、すぐに努力すべきものがある。と思うのです。

その2 「できる」「よくできる」の数ではなく、どういう傾向があるか、を知る

「できる」「よくできる」がある程度あっても、その子によっては、「資料から読み取る」「筋道を立てて考える」などが難しい子や、「話を集中して聞く」「自分の意見をはっきり話す」などが嫌いな子、「作図をする」「式にあらわす」などがどうも苦手という子など、様々です。

まず、お子さんの傾向を知る。そのためにあゆみを生かしてみたいかがですか。「図工の好きな子」「音楽の好きな子」「体育の好きな子」「家庭科の好きな子」「社会・理科の好きな子」は、体や感性がしなやかで、楽しく学校生活を送っている子が多いです。また、私の経験上、あまりへこたれないで自分の好きな道を進んでいく子も多い。もちろん、算数・国語が得意なら素晴らしいけれど。

そういう時は、好きなものをしっかりとほめてあげると、苦手なことへの耐性も育つから不思議です。

ぜひ、お子さんの個性・傾向探しをしてみてください。

その3 あゆみと合わせて(の前に)、ノートも見てね

お忙しいので大変ですが、ノートを見るとあゆみを見なくても、ほぼ成績がわかるのではないのでしょうか。低学年ならあまり差はない？ですが、学年が上がるにつれ、ノートは「学習上手」かそうでないかをはっきり表します。

「ノートなんか見せてくれませんか！」と言われるお家の方もおられますか？
普段から、ノートを見せてくれる関係に・・・無理ならこっそりでも・・・(笑)

お家の方が見ても、『こういう学習をした』とわかるノートは、今後の学習スタイルをつくる上で、重要です。ノートは、『考えを書く・考えをまとめる・考えた過程を残す・結論を書く・要点をまとめる』などを一目で表しています。もし、ノートがぐちゃぐちゃなら・・・原因を考えて手当しないとはいけません。

テストのやり直しも、テストに書くのではなく、自分でノートに書き写してやってみると、とてもいい復習になります。高いお金を出して、テキストを買わなくてもいいのです。

ノートを見て、学習状況を知り、ほめて(はげまして)あげてください。



最後に 「学校生活の様子」「出席日数」も見てください

だいたい一つから二つぐらい、その子の良いところに がついていると思います。

家庭で見られる様子とは違うと思いませんか？学校でしか見られない様子は、しっかり担任に聞いてみてください。我が子の意外な一面も見えると思います。

また、出席日数は、病気などはもちろんのこと、よく見てみると、月はうちの子弱いなあ・・・などというのもわかったりします。その子その子のバイオリズムも見えたりします。

今はあまり言われなくなりましたが・・・欠席0遅刻0早引き0なら・・・うんとほめてあげてくださいね。強い体と心は宝物です。もちろん、休んでもかまいませんが。

お風呂に入りながら、ご飯の後のアイスクリームを食べながら、食事を作りながらでも、「あゆみ」を材料に、いろいろと家族の対話をしてみてください。

お家の方の見方が変わったら・・・子どもが喜んでくれるかもしれませんね。乞うご期待！

我が家の交通安全<原稿ありがとうございます>
子どもと一緒に歩いている時、スピードを出す車が実際走ってくると、子どもには声をかけ、「危険はいつも一瞬で起こる。この状況で飛び出したらどうなるか」を考えさせている。

